

# れきはく NEWS

vol.47  
2019.JUN

島根県立古代出雲歴史博物館の  
旬な話題や情報をお届けします

Shimane Museum of Ancient Izumo

## CONTENTS

- 2 企画展  
「たたら -鉄の国 出雲の実像-」
- 4 館長新任あいさつ  
島根県立古代出雲歴史博物館の休館について
- 5 長期休館に伴うパスポートの取扱いについてのご案内
- 6 れきはく通信
- 7 古代文化センター通信
- 8 れきはくごよみ

【企画展】

# たたら RA

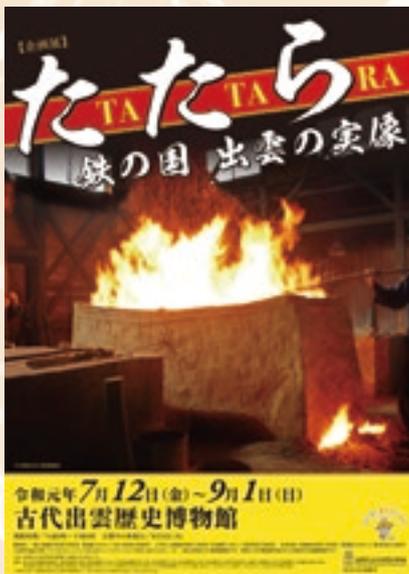
## 鉄の国 出雲の実像



日刀保たたら操業風景

令和元年7月12日(金)~9月1日(日)





企画展

# たたら

— 鉄の国 出雲の実像 —

**会期** 令和元年7月12日(金)~9月1日(日)

◎開館時間/9:00~18:00※最終入館は17:30となります。

◎会期中の休館日/8月6日(火)

**会場** 島根県立古代出雲歴史博物館  
特別展示室

**た**たら製鉄は、日本列島で独自に発展した砂鉄・木炭を原料とする製鉄法です。  
出雲は、かつてたたら製鉄が盛んに行われた地域です。その技術は、今もなお、  
この地に伝承されており、まさに「鉄の国」といっても過言ではありません。

それでは、いつごろから出雲は鉄の大産地になったのでしょうか。

この展覧会では、古代から江戸時代にかけて日本列島各地における鉄生産の歴史を  
紐解きながら、たたら製鉄の技術体系が完成されていく過程とその背景を探ります。

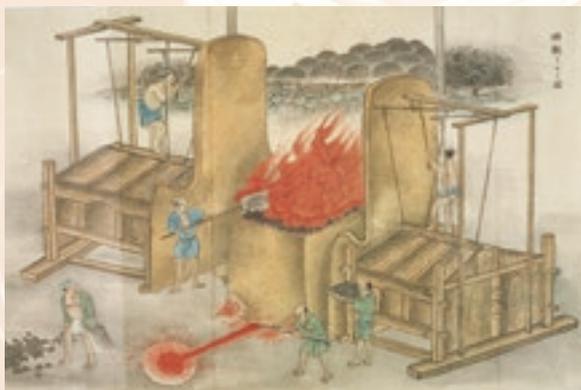
また、生産だけでなく、流通や消費など様々な場面において、鉄が人や社会  
とどのような関わりをもっていたのか解き明かし、新たな視点から「鉄の国」  
出雲の実像に迫ります。



唐物古銅玉取獅子形香炉  
【絲原記念館蔵】

## 古今東西の鉄づくり

日本列島では、弥生時代から鉄器が使用され、古墳時代後期から鉄が作られはじめました。その後、技術革新をとげながら、江戸時代にたたら製鉄の技術体系が完成しました。列島各地の出土品や道具類、絵画資料などから日本の鉄づくりの歴史を探ります。



先大津阿川村山砂鉄洗取之図  
【東京大学工学・情報理工学図書館工3号館図書室蔵】



戸の丸山製鉄遺跡 炉底塊  
【広島県立歴史民俗資料館蔵】



金屋子神の図【個人蔵】



## くらしに関わる様々な鉄

鉄は我々の生活にとって欠かせないものです。遺跡から出土した様々な鉄製品から、鉄が昔の人々のくらしの中にも深く溶け込んでいたことが分かります。



草戸千軒町遺跡 工具類  
[広島県立歴史博物館蔵/重要文化財]



塩津港遺跡  
鍋・五徳・火箸  
[滋賀県教育委員会蔵]



## ブランド化する鉄

中世になると、出雲をはじめとする中国地方は鉄の大産地になり、そこから各地に鉄が流通していきました。中世の鉄の流通状況を示す史料とともに、刀剣や鋳物など、鉄から生み出された優れた造形をご覧ください。



鉄製台釣六角燈籠  
[嚴倉寺蔵/安来市指定文化財]



刀 銘 雲州仁田郡住忠貞 [個人蔵/奥出雲町指定文化財]



## 鉄がもたらした繁栄

江戸時代になると、鉄師と呼ばれる大規模に製鉄業を営んだ人々が現れ、松江藩の産業政策とも関わりつつ成長しました。鉄師の家に伝わる名品は、鉄師の繁栄ぶりや松江藩とのつながりをうかがわせるものです。



青井戸茶碗 銘 秋埜  
[田部美術館蔵]

こちらもおすすめ!

## 企画展関連催事

### 関連講座

#### 第1回

### 天下統一と鉄の流通

- 日時/7月21日(日)  
13:30~15:00
- 講師/長谷川 博史氏  
(島根大学教育学部教授)

#### 第2回

### 日本列島における鉄づくりの歴史的展開

- 日時/8月4日(日)  
13:30~15:00
- 講師/穴澤 義功氏  
(たたら研究会委員)

#### 第3回

### 中世における製鉄技術の革新と生産地形成

- 日時/8月10日(土)  
13:30~15:00
- 講師/角田 徳幸  
(島根県埋蔵文化財調査センター調整監)

各講座とも 定員100名(参加無料)

- 会場/古代出雲歴史博物館 講義室

関連講座に参加をご希望の方は、下記の方法でお申込ください。

- お申し込み方法  
電話・FAX・ホームページのイベント参加フォームのいずれかで事前にお申し込みください。
- お申し込み先  
〒699-0701 島根県出雲市大社町杵築東99-4  
古代出雲歴史博物館  
TEL.0853-53-8600 FAX.0853-53-5350  
<https://www.izm.ed.jp>

【個人情報の取り扱いについて】  
この申し込みによって収集した個人情報は、島根県の規定に従って取り扱い、表記の関連イベント・講座開催の目的にのみ利用するほかは、法令に定めがある場合を除いて、第三者に提供することはありません。

### ギャラリートーク

- 日時/7月21日(日)  
8月4日(日)  
8月10日(土)  
各回10:00~11:00
- 会場/古代出雲歴史博物館 特別展示室
- 講師/古代出雲歴史博物館 企画展担当学芸員

参加には年間パスポートまたは企画展観覧券が必要です。

このたび、当館の館長に就任いたしました松本と申します。どうぞ、よろしく申し上げます。この原稿を書いている4月上旬、今年は春の嵐が吹き荒れることもなく、花の盛りが長く続いています。出雲大社の境内の桜も、弥山の山あいに垣間見える桜も大変美しく、「令和」という新しい時代の到来を祝っているかのようです。

古代出雲歴史博物館は、平成19年3月に開館し、現在、13年目を迎えています。開館当初よりその使命は、「島根の特色ある歴史・文化の調査研究と成果の発信」、そして、「歴史と文化を活かした人づくり、地域づくりへの貢献」ですが、数多くの企画展や特別展の開催を通じ、また、60年に一度の出雲大社の大遷宮という慶事にも恵まれ、多くの方々に足を運んでいただきました。島根の特色ある古代文化を県内外の方々へ情報発信するという点では、大きな成果を上げてきたと考えております。

そのような中、時代は平成から令和に移り、古代出雲歴史博物館も新たな歴史を刻んでいく必要があります。その第一段として今年度は、企画展「古墳文化の珠玉一玉は語る出雲の煌めき」と「たたら 鉄の国 出雲の実像」を開催し、さらにオリンピックイヤーである来年当初には、東京国立博物館で、特別展「出雲と大和」を開催して国内外の方々に島根の魅力を発信することとしています。

そして、それ以降も、当館では、魅力ある企画展や特別展の開催を予定しております。

いうまでもなく、島根の古代文化は県民が誇る地域の財産であり、それを研究展示する博物館として、当館に課せられた使命は非常に重いものがあると感じております。第一級の博物館として広く社会に認知されるよう、これからも努力を続けて参ります。皆様方のさらなるご指導、ご支援をお願いいたします。

## 島根県立古代出雲歴史博物館の休館について

令和2(2020)年1月15日～3月8日の間、東京国立博物館において、日本の国の成り立ちやその特質に迫る特別展「出雲と大和」を奈良県と共同開催します。

この特別展に、銅鐸・銅剣など多くの重要な展示品を搬出することなどから、この期間を捉え、施設・設備の不具合の解消に併せて、館の魅力向上を図る改修工事を行う予定であり、次のとおり休館期間を設けることといたします。

### 休館期間

令和元(2019)年11月18日(月)～  
令和2(2020)年4月23日(木)

※令和2年正月期間は、館内(無料ゾーン)の一部を解放する予定

### 改修工事の内容

- ①文化財を適切に保存・展示するための改修  
展示室照明のLED化、展示模型の改修(素材変更)、展示ケースの改修
- ②展示機能の充実と施設の機能強化  
映像ソフトの多言語化、風土記ガイダンスの設置、オープンエリアの空調改善
- ③特別展「出雲と大和」の展示成果の活用  
心御柱レプリカ、加茂岩倉遺跡銅鐸埋納模型の設置

### スケジュール

区分	令和元(2019)年度												令和2(2020)年度		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
県外特別展 「出雲と大和」									展示資料の 搬出	出雲と大和 (1月15日～3月8日)	展示資料の 搬入展示				
										東京国立博物館					
歴博展示		古墳文化の珠玉 玉は語る出雲の煌めき			たたら 鉄の国 出雲の実像							歴博休館(11月18日～4月23日)			

# 長期休館に伴うパスポートの 取扱いについてのご案内

ミュージアムパスポート会員様には、日頃より当館をご愛顧いただきあらためて感謝申し上げます。4ページでもご案内いたしました、当館はメンテナンス作業等のため、2019年11月18日から2020年4月23日まで約5ヶ月間、休館いたします。このことにより休館中はお持ちのパスポートが使用できなくなります。

つきましては、これにともなう取扱いを下記のとおりといたしますので、何とぞご了承ください。

**1** 当館パスポートの有効期限は、原則として購入から1年としておりますが、この度の長期休館により実際には利用できなくなる期間が生じます。このため、会員様の「利用できなくなる期間」に応じて2020年4月24日から利用できる新たなパスポートをご準備いたします。

**2** 新たなパスポートはデザインを一新し、2020年4月中旬頃に簡易書留等で郵送する予定です。

**3** 現在実施しているパスポート更新時の特典（更新後のパスポートの有効期間を13ヶ月とする）は、2020年4月24日から利用できる新たなパスポートに引き継ぎます。このため長期休館に入る時（2019年11月18日）までに有効期限が切れる場合は、有効期限内に更新手続きをされるようおすすめします。

**4** 当館のパスポートを利用した他館での優待割引制度につきましては、当館が休館中でもご利用いただけます。

**5** 休館期間中はパスポートの発行手続き（新規購入・継続とも）は行いません。何とぞご了承ください。

**6** パスポート会員様を対象とした優待キャンペーンを、2020年4月24日から実施する予定です。どうぞお楽しみに！

上記についてご不明な点がございましたら遠慮なくお尋ねください。今後ともパスポートに関するサービス向上に取り組んで参ります。みなさまには、ご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。

お問合せ先 古代出雲歴史博物館 TEL0853-53-8600

## 古代出雲歴博ボランティアスタッフの会 教育優良団体表彰を受けました

NPO法人「古代出雲歴博ボランティアスタッフの会」は平成19年の開館時に組織され、博物館の展示解説や各種イベントの補助などを通じ博物館と来館者・地域の皆さんとの「橋渡し役」を担っていただいています。

島根県では地域の環境を良くしたり、困っている人を支えたりして、地域を住みやすくするための様々な活動を「県民いきいき活動」として推奨しています。このたびボランティアスタッフの会が「専門的な知識を持って丁寧な解説を行っており、来場者の満足度を高めることにつながっている」点などが評価され、「県民いきいき活動奨励賞」を受賞し、平成31年3月5日に島根県知事から表彰を受けました。



授賞式での記念撮影  
(左：溝口知事(当時) 右：ボランティアスタッフの会理事長の高橋氏)

### SHOP INFORMATION

## 藍染商品 新作できました!



当館のボランティアが、当館の藍甕で染め、  
手作りしている商品に新作が登場!

その名も「あい(藍)クマ♥」

リボンや藍染の服を着て、様々な表情のクマちゃんのなかから、お好みの子をみつけて



- 藍染商品  
270円~
- あい(藍)クマ♥(ミニ)  
1,296円~

※生産量に限りがありますので店頭に並んでいない場合もございます。その場合はご容赦ください。

くださいね。手作りなので顔も柄もすべて異なります。このほかストールやポーチなど、たくさんの商品が揃っていますので、ぜひ当館のミュージアムショップにお越しください。

## ◎島根県古代文化センターの調査研究・情報発信事業について

今年度開始のテーマ研究

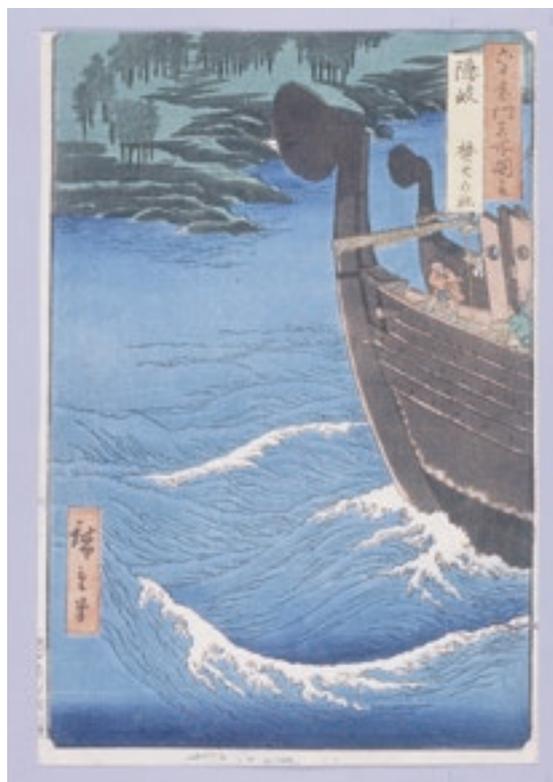
### 近世近代の交通と 地域社会経済

(研究期間:令和元~令和3年度)

交通は、いつの時代においても社会に欠かせないものであり、私たちの暮らしに大きな影響を与える存在です。交通の変化が、ときに私たちの生活や文化、産業を一変させることさえあります。交通は、経済や文化をはじめ様々な見地から捉えられるべき研究テーマといえます。

本テーマ研究が取り扱う近世・近代という時代は、和船中心であった遠隔地を結ぶ交通が汽船や鉄道の登場によって大きく変化していく激動の時代でもありました。それでは当時、山陰地域に展開した交通、例えば北前船や隠岐汽船、一畑電気鉄道は、地域社会やそこに暮らす人々に具体的にどのような影響を及ぼしたのでしょうか。

このような問題関心のもと、本テーマ研究では商品の流通や人の移動について交通史の視点から取り組みます。具体的には、鉄・木綿・焼物・瓦といった山陰特産物の流通、あるいは参詣や湯治、名所旧跡巡りを目的とした旅や観光を主な研究対象とします。そして、モノや人の移動が交通からどのような影響を受けていたのか、あるいは逆にどのような影



「六十余州名所図絵 隠岐 焚火の社」  
隠岐焚火神社の沖合での海上安全祈願の様子を描いた浮世絵。北前船で栄えた隠岐を象徴している。

響を与えていたのかについて明らかにすることを目指します。これらの研究によって、時代ごとの特色、あるいは時代を貫き現代まで続くこの地域の特徴が浮かび上がってくるはずです。

■主担当: 研究員 中安恵一

島根県古代文化センター刊行物のご案内

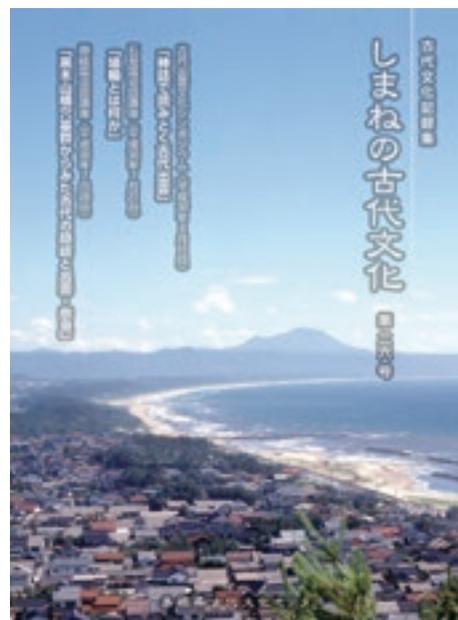
### しまねの古代文化 第26号

古代文化センターでは、島根県内の歴史文化をテーマとした講座やシンポジウムを県内外で開催し、その講演記録集として『しまねの古代文化』を毎年刊行しています。表紙デザインを一新した26号では、平成30年度に開催されたシンポジウム「神話で読みとく古代出雲」(基調講演:松本直樹氏、報告①:坂江渉氏、報告②:佐藤雄一氏)、石見国巡回講座「埴輪とは何か」(講師:和田晴吾氏)、隠岐国巡回講座「黒木山横穴墓群からみた古代の隠岐と出雲・奈良」(講師:池淵俊一氏)の三本を収録しています。

◎2019年3月刊行/B6版113頁/定価1,000円

◎島根県文化財愛護協会にて販売しています。

◎連絡先:0852-22-6612(島根県教育庁文化財課内)



# 夏はれきはくで楽しもう!

7.28

日

〈れきはく夏の体験楽〉

## れきはく夏まつり

時間 10:00~15:00

場所 古代出雲歴史博物館  
風土記の庭・体験工房

随時受付《100個限定》

### \*“勾玉”をつくろう!

世界に一つだけ!自分だけの勾玉をつくってみませんか?

参加費 400円

随時受付《100枚限定》

### \*藍染でオリジナルハンカチをつくろう!

参加費 400円



〈出雲農林高校・古代出雲歴史博物館 連携事業〉

### \*出雲農林高校がやってくる!

ヤギやモルモットとのふれあいが楽しめる「移動動物園」や農産物の加工品を販売する「出農ショップ」がオープン。



〈夏休み応援企画 石見銀山ワークショップ〉

### \*令和丁銀づくり

みんなで世界遺産石見銀山について楽しく学んだあとに、「令和元年」と刻印された丁銀をつくろう!

●1回目/10:30~11:30

●2回目/12:00~13:00

●3回目/13:30~14:30

※小学生以下のおさまは保護者の同伴が必要です。

参加費 500円

【定員】  
各回 12名  
※希望者多数の場合は抽選となります。



### \*出張博物館 県内外の博物館による体験メニューが盛りだくさん!

●参加館/広島県立歴史民俗資料館、出雲弥生の森博物館、石見銀山世界遺産センター、荒神谷博物館

### \*キッズわくわく体験コーナー

銅剣のペーパークラフトなど小さなお子様でも工作を楽しめます。また館内の涼しいお部屋でアテンダントによる歌のステージも!

※内容は変更になる場合があります。一部有料。

8.25

日

企画展「たたら 一鉄の国 出雲の実像」関連イベント

〈夏休み子ども歴史教室〉

小学生以上対象 ※保護者同伴可

## 気分はいにしへの鍛冶職人!? ペーパーナイフづくり

いにしへの鉄作りを学んで自分だけのペーパーナイフを作ろう!

時間 [第一回] 10:00~12:00  
[第二回] 14:00~16:00

会場 古代出雲歴史博物館  
体験工房

参加費 200円+企画展観覧料

定員 各回15名

申込先 電話またはホームページのイベント参加フォームからお申し込みください。



鍛冶工房復元模型(雲南市教育委員会蔵) ※写真はイメージです。

## 募集 博物館アテンダント

経験は問いません!  
未経験者大歓迎!  
資格も必要ありません!

時給  
840円~  
(昇給制度あり)

来館者のご案内、観覧券の販売、博物館のPR活動など行っていただけます。

■勤務時間/8:30~18:15の間の8時間(シフト制)  
■休日/年間110日(9~10日/月)  
■雇用期間/令和2年3月31日まで(令和2年4月1日以降は原則更新)  
■勤務地/鳥根県立古代出雲歴史博物館 出雲市大社町杵築東99-4

同時募集

経験、資格不問

### \*展示室監視員

展示室内のイスに座って、来館者の動向、展示物の監視を行っていただけます。詳細はお問い合わせください。

時給  
800円~

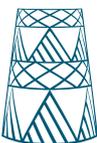
お問い合わせ



一畑電気鉄道株式会社

TEL0852-26-1313 ●担当/土江(平日8:30~17:30)

どこ行く? れきはく!



鳥根県立古代出雲歴史博物館

Shimane Museum of Ancient Izumo

〒699-0701 鳥根県出雲市大社町杵築東99-4

TEL.0853-53-8600(代) FAX.0853-53-5350

[URL] <https://www.izm.ed.jp> [E-mail] [contact@izm.ed.jp](mailto:contact@izm.ed.jp)

開館時間/9:00~18:00(11月~2月は9:00~17:00)

休館日/第3火曜日(変更の場合有り)



マスコットキャラクター  
雲太くん



発行/令和元年6月



マスコットキャラクター  
出雲ちゃん